



南部町立南部中学校 学校だより R7 第9号

城山の風

令和7年7月17日(木)

校長 樋口 信也

職場体験学習－働くということを実感－

7月2日(水)に2年生が職場体験学習をしました。町内外12の事業所に2～10人ずつに分かれ、丸一日仕事を体験しました。ほとんどの生徒が、いずれ何かしらの職業について働くことになります。職業に貴賤はなく、どの職業も社会の中で何かしらの役割を果たしています。また、どの仕事も楽しいこともあれば嫌なこともあり、それはやってみなければわかりません。そういうことを少しでも知ってほしいと思い、職場体験学習をしています。労働体験や働く人へのインタビューを通して、仕事をする上での大切なこと、表からは見えない気遣いや大変さなど、働くことへの理解が深まったことが生徒の感想からわかりました。

生徒にとって貴重な体験となるこの学習も、協力してくださる事業所あってのものです。ありがとうございました。



アスリート派遣事業－スポーツを楽しむ－

7月3日(木)に、女子硬式野球日本代表(侍ジャパン女子代表)の六角彩子さんに、本校1年生の体育の授業をしていただきました。これは、スポーツ庁からの委託事業として日本テレビ放送網株式会社が実施している「アスリートの派遣等による体育授業等の充実事業」に申し込んで実現したものです。六角さんは、自身の経験を踏まえて、「好きなことをとことん楽しもう」「何事にもチャレンジしてみよう」と熱く語ってくれました。

また、六角さんが普及活動をしている5人制野球BASEBALL5の試合をみんなでしました。スポーツをする上で最も大切な、楽しむということをあらためて教えていただきました。



美術文芸部の活動紹介

美術文芸部の部員数は15人で、美術室で活動しています。絵を描いている人、折り紙作品を作っている人、切り絵をしている人、キーホルダーを作っている人、みんな思い思いの創作活動をしています。今は、輝城祭に向けた作品作りを始めています。

また、今年はUTY教育美術展に出品しました。特別賞や優秀賞はテレビ等で紹介されますのでご存じの方も多いと思いますが、県内最大規模の絵画コンクールです。51回目となる今回は、81校から757点の出品がありました。その中で、今回、2年生の大内紅愛さんの作品が佳作に選ばれました。この大きなコンクールで賞に選ばれることはそうそうあることではありません。すごいことです。全出品作品が7/26～8/1の期間、県立美術館で展示されます。なお、30日に美術文芸部で展示作品を見に行く予定です。



輝城祭の作品制作に取り組む

夏休みを迎える全校生徒のみなさんへ

1学期の授業日数は72日でした。この間、みなさんは様々なことに取り組みました。学年行事の修学旅行、県内めぐり、ふるさと探訪では、本物を見たり、専門家の話を聞いたりして見聞を広めました。部活動では、選手権大会や地区総合体育大会で立派な成績を収めることができました。美術文芸部は、絵を描いたり、ものづくりをしたりと思い思いの創作活動をしていました。吹奏楽部は、4月にだけのこまつりに出演し、今は7月20日の県吹奏楽コンクールに向けて一生懸命練習しています。このような大きなこと・特別なことだけでなく、朝読書、授業、清掃、当番・係活動といった日常のこともちゃんとすることが大事ですが、多くの方ができていました。



7.11 吹奏楽部コンクール曲披露

7月19日から8月25日まで、38日間の夏季休業（夏休み）になります。1学期は1日の半分近くを学校で過ごし、学校のいろんなことに一生懸命取り組みました。夏休み中は、家や地域で過ごす時間を大切にしてください。カブトムシを捕る、畑で野菜を育てる、プールで気持ちよく泳ぐ、小説を書いてみる、読もうと思ってた本を読む、観たかった映画を観るなど、いつもより時間がある夏休みだからできることをするといいですよ。ただし、熱中症や水の事故、熊には十分注意してください。

2学期、充実した夏休みを過ごし、満足げな表情のみなさんと会えることを楽しみにしています。よい夏休みを。